

【肝臓がん地域連携パス運用手順】

肝臓がん地域連携パスについて、次のように運用させていただきますので、ご協力よろしく
お願いいたします。

1. 対象患者

広島大学病院で一回目の肝切除を受けた原発性肝がん(肝細胞癌、肝内胆管癌、混合型肝癌)
の方を対象とします。

2. パス導入時の連絡

患者さんに地域連携パス導入のご説明を行い、ご同意いただいた場合、担当医もしくはパス担
当者から連携医療機関の先生へ電話でご依頼させていただきます。

3. 広島大学病院への定期受診など

広島大学病院へは3か月ごとに受診していただき、腫瘍マーカー検査(3か月ごと)・腹部超音波検
査(3か月ごと)・胸腹部CT検査(または腹部MRI、6か月ごと)を実施します。ただし、進行度など
によりスケジュールが変更になることもあります。

4. 連携医療機関の先生にお願いする診療

貴施設では、原則3か月ごとを目安に、以下の診療をお願いいたします。

- ①腫瘍マーカー(AFP-L3/PIVKA-II)を含む血液検査
- ②薬剤の投与・変更など
- ③高血圧、糖尿病、脂質異常などの他疾患の診療

※採血データなどの診療情報を当院へ送付頂きますようお願いいたします。その際、貴院におい
ては、月1回を限度として『がん治療連携指導料300点』を算定することができます。(パス導入時に
がん治療連携計画策定料を算定したものに限り、がん治療連携計画策定料の算定有無に
ついては、連携開始時に患者さんごとに当院よりご連絡いたします)

5. パスの期間

原発性肝がんは慢性肝疾患を背景に発生することから、長期間のフォローが必要となります。パ
スの期間は設定いたしません。

6. バリエーション

- ①死亡
- ②他疾患の病状悪化
- ③患者希望